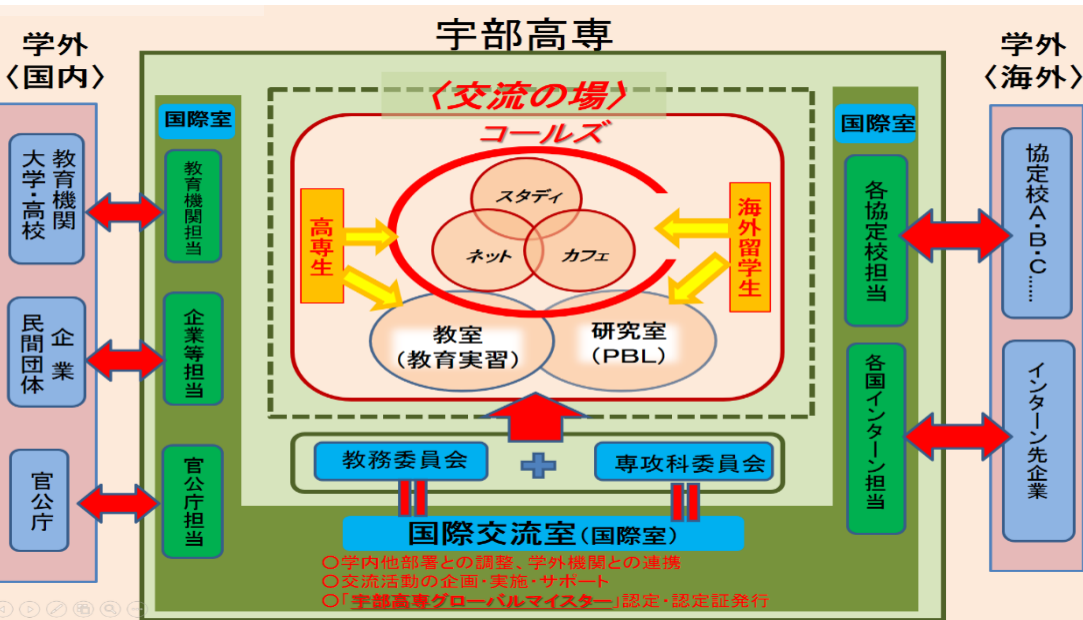


【取組の目的、内容】

- 目的：海外協定校及び国内各種団体と連携し、高専生の「グローバルコンピテンシー」「コミュニケーション力」等の向上を第一目的に、近隣地域と高専全体のグローバル化にも貢献する。
- 内容：①多目的交流スペース〈コースズ〉を整備し国際交流を加速。  
 ②国内外の国際交流活動を経験した学生を到達度評価し、上位レベル者に「グローバルマイスター(GM)認定証」を発行。  
 ③以上を「UBE方式」とし、高専の次世代型国際交流パッケージとして高専フォーラム等で全国高専に発信。

【実施体制】

【工程表】



	コースズ運用	GMの整備	UBE方式パッケージ化
H29.7～	・関係物品購入 ・利用要領作成	・学修成果の可視化 ・認定方法の検討	・UBE方式運用概要整理
H29.10～	・関係物品購入 ・利用開始 ・利用の評価 ・利用促進 ・計画策定	・認定基準の確定 ・学生の評価開始 ・認定証の発行	・UBE方式運用方針決定 ・ブロック会議等周知
H30.4～	・カフェ運用 ・パッケージ化 ・機材の追加	・認定基準の再検討 ・学生と企業へのGMの周知	・UBE方式パッケージ化開始
H30.10～	・ネット運用 ・パッケージ化 ・スタディ運用 ・パッケージ化	・新認定基準の確定 ・認定証の発行	・パッケージ化完成 ・他高専展開準備

【成果指標】

指標 1：学生の海外研修参加人数	85名（H28）	→	100名（H30）
指標 2：交流協定校短期留学生受入れ人数	45名（H28）	→	50名（H30）
指標 3：グローバルマイスター認定証の発行	未実施（H28）	→	25名（H30）

【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

- 第4ブロック高専等への展開：UBE方式のパッケージ完成および第4ブロックを中心とする他高専への展開。
- グローバルマイスター制度の学生・企業への認知度アップ：キャリア教育やリクルート活動を通じて認知度を向上。